

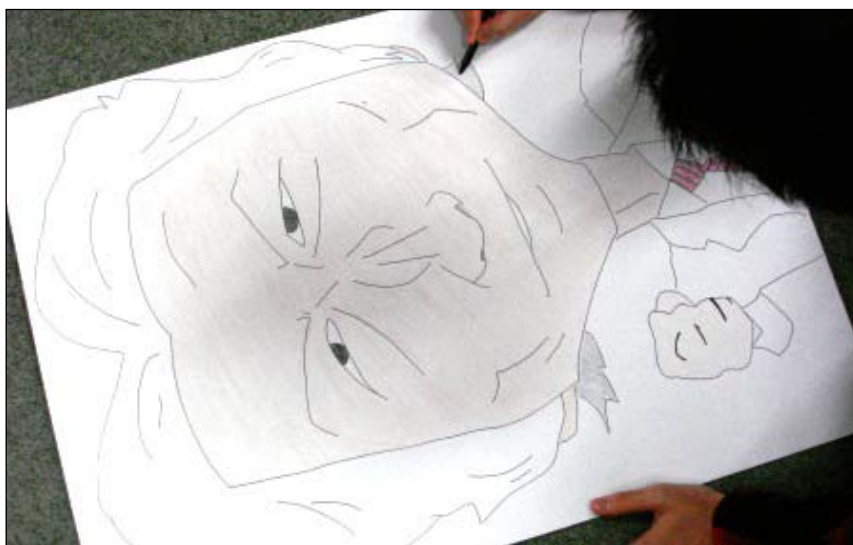
2-2-3 第3分科会「遊んで学べるすごろくを作ろう！！」

担当者 井門正美 受講学生 22名

活動概要： すごろくは『日本書紀』の中に、の689年（持統天皇の代）に「禁断双六」という記述があるということですが、これは盤双六と言われるものです。今回、私たちが対象としたのは、皆さんにも馴染みの絵すごろくです。この絵すごろくの源流は、13世紀頃の仏法双六だと言われ、これは天台宗の新米のお坊さんに遊びながら仏法の名目を学ばせるために考案されたと推測されます。その後、江戸時代に入り、絵すごろくが成立するに至って、今日まで親しまれている遊びです。

私たちは絵すごろくの「遊び」と「学び」に注目して、オリジナルな絵すごろく開発をすることにしました。絵すごろくには、「遊び」と「学び」が満載です！！

活動風景：





受講学生の感想（受講生の受講カードより抽出）

- 双六の歴史や種類について学んだ。自分たちでこれから双六を作っていくので、ユニークで学習に使いやすいようなものを作っていきたいと思う。(11月4日の感想より)

- コマの無いようなデザイン等をどう工夫するかで決行尾悩んだ。1つの双六につきどれだけの『進む・休む』等を入れるかなど双六独特の難しさもあるが、作成を進めるにつれて研究も深まっているような気がした。(11月18日の感想より)

- 色つけ作業に入って双六らしさが出てきたように思う。冬休みをはさんで1月20日からの講義時間内で完成させるように頑張ろうと思う。(12月16日の感想より)

- 私たちのグループの双六が無事に完成しました。最終の仕上げなどもできて工夫して作ることができました。発表をしっかりと頑張りたいです。(1月27日の感想より)